

## 奥様が入院となりご主人は別の病院へ

介護保険制度が始まる1~2年前から、医師、歯科医師、薬剤師、看護師など医療従事者が何度も研修を重ねて、それぞれの立場から問題点をあげたり、解決策を提示したりを繰り返しました。

薬剤師会でも、ぜひ介護支援専門員(ケアマネジャー)の資格を取りなさいということで、私も受験を。2000(平成12)年に介護保険制度がスタートし、介護支援専門員の資格は、受験で勉強した未知の分野の内容が今でも役に立っています。

87歳になる女性は自宅で、93歳のご主人と2人暮らし。ご主人は認知症が進みつつあるが、小康状態を保っていました。

先日、介護の疲れがたまって奥様がダウン。昔経験した一過性の脳梗塞のような症状だったので娘さんに電話したら、「救急車を呼びなさい、すぐに行くから」と。救急車を呼び、ご主人に事情を話したら、自分ひとりで着替えができました。

救急車が来るころには娘さんが到着。奥様は救急車で病院へ。ご主人は以前にかかったことのある総合病院に入院しました。

## 会えなかった3週間の間に

そこでは、「お母さんはどこに行った?」と奥様を捜すしぐさを。奥様と今まで離れたことがなかったので、奥様がないことが非常に不安な様子。

奥様は幸い翌日退院して戻ってきたも

## 店頭から 「たんちちは」

第145回

3週間後に面会へ行ったところ、骨と皮だけになり、オムツを――。

ある総合病院での出来ごと  
変わり果てた姿に愕然とする

奥様が入院し、その間、ご主人は総合病院へ入院することに。

の、その病院では3週間は、面会をさせてくれない。その間、鎮静剤を投与され、副作用のせん妄が出てきて投与中止となったようです。

3週間後に息子さん、娘さんと3人で面会。ご主人がスッカリ変わってしまっていてビックリしたそうです。

目は緑色の目やにが出て目が開かない。左目は眼瞼下垂があるので、テープで引っ張り上げてくれと頼んでいたが、テープを使った様子もなし。預けてあった目グスリは渡したときからまったく減っていない。3週間前までは1人でトイレに行っていたのに、オムツを。

ラグビーをしていたので骨格がしっかりした人だったが、体重は減り、骨と皮だけに。面会をする前に職員から現在のご主人の様子を説明する時間を設け、話を聴いていたが、あまりもの変わりようだったそうです。

「身体拘束される」とご主人がいうと、「身体拘束なんて、よくそんな難しい言葉を使えるね」といわれたとか。「別に難しい言葉とは思わない」と奥様。

私はそこまでお聴きして、一刻も早く退院すべきというしかありませんでした。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表  
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ

宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。「空気が乾燥していますので、注意しましょう」

